



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 東京精密

コード番号 7729 URL <http://www.accretech.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 太田 邦正

問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務会社執行役員社長 (氏名) 川村 浩一

TEL 042-642-1701

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日

平成25年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 アナリスト・機関投資家向け

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	28,366	10.0	4,367	1.0	4,569	7.0	2,866	131.9
25年3月期第2四半期	25,790	△20.3	4,326	△30.5	4,271	△30.3	1,236	△79.3

(注)包括利益 26年3月期第2四半期 3,602百万円 (280.3%) 25年3月期第2四半期 947百万円 (△82.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	69.52	69.26
25年3月期第2四半期	29.99	29.93

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
26年3月期第2四半期	79,355		60,813		76.1
25年3月期	77,862		57,304		73.3

(参考)自己資本 26年3月期第2四半期 60,404百万円 25年3月期 57,069百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
26年3月期	—	10.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	54,000	5.9	8,000	6.6	8,000	1.4	5,200	30.1	126.11

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	41,276,181 株	25年3月期	41,254,781 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	32,735 株	25年3月期	32,292 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	41,233,358 株	25年3月期2Q	41,221,811 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続きの対象外であり、この決算短信開示時点において、金融商品取引法に基づく連結財務諸表に関する手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3頁「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予想情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における内外経済情勢は、国内では政府の金融・経済政策による円安・株高が進み景気は緩やかな回復傾向となり、海外でも米国経済は財政面に不安を残しつつも緩やかな回復基調が続きました。一方、欧州経済は一部に改善の動きが見られたものの低迷状態が継続、近年世界経済の牽引役となってきた中国など新興国経済も引き続き減速傾向が続くなど、総じて先行き不透明な状況が続きました。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、受注高 281 億 4 百万円（前年同期比 8.4%増）、売上高 283 億 66 百万円（前年同期比 10.0%増）、営業利益 43 億 67 百万円（前年同期比 1.0%増）、経常利益 45 億 69 百万円（前年同期比 7.0%増）、四半期純利益 28 億 66 百万円（前年同期比 131.9%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間のセグメント別概況は以下の通りです。

#### 【半導体製造装置部門】

半導体製造装置部門では、クラウドサービス伸張によるデータセンターサーバー向けなどのメモリ需要は期を通じて拡大しました。しかし市場の牽引役となっているスマートフォンやタブレットPCは、新興国向けローエンド機種に主流を移しつつ、当期後半の後工程では需要期を踏まえた生産調整の動きが顕著となりました。こうした状況を受け、当社装置は受注、売上とも、第2四半期は第1四半期に比べ減少いたしました。

この結果、受注高は 164 億 34 百万円（前年同期比 9.9%増）、売上高は 174 億 27 百万円（前年同期比 14.1%増）、営業利益は 22 億 2 百万円（前年同期比 17.6%増）となりました。

#### 【計測機器部門】

計測機器部門では、主要ユーザーである自動車関連業界は、円高是正等の要因もあって業績好調な中、引き続きワールドワイドな生産体制構築を進めました。一方、当期後半には、調整色が強かった工作機械にも回復の兆しが見え始めたほか、政府補助金の審査待ちだった国内中堅中小企業にも審査結果が出て投資実行となるなど、マーケットに勢いが出てまいりました。こうした状況を受け、当社装置は受注、売上とも、第2四半期は第1四半期に比べ増加いたしました。

この結果、受注高は 116 億 70 百万円（前年同期比 6.4%増）、売上高は 109 億 38 百万円（前年同期比 4.0%増）、営業利益は 21 億 65 百万円（前年同期比 11.7%減）となりました。

### （2）財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末における総資産は、前連結会計年度末に比べ 14 億 93 百万円増加し、793 億 55 百万円となりました。増減の主な要因は、受取手形及び売掛金の増加 22 億 63 百万円、現金及び預金の増加 20 億 87 百万円、仕掛品の減少 13 億 88 百万円等であります。

当第2四半期末における負債は、前連結会計年度末に比べ 20 億 16 百万円減少し、185 億 41 百万円となりました。増減の主な要因は、長期借入金の減少 15 億円、支払手形及び買掛金の減少 1 億 92 百万円等であります。

当第2四半期末における純資産は、前連結会計年度末に比べ 35 億 9 百万円増加し、608 億 13 百万円になりました。増減の主な要因は、利益剰余金の増加 25 億 86 百万円、その他有価証券評価差額金の増加 4 億 1 百万円等であります。この結果、自己資本比率は 76.1%になりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ20億6百万円増加し、203億11百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、42億43百万円の収入となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益46億35百万円、売上債権の増加21億31百万円、たな卸資産の減少18億12百万円、減価償却費8億82百万円等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、5億89百万円の支出となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出8億52百万円、投資有価証券の取得による支出4億69百万円、投資有価証券の売却による収入7億2百万円等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、18億24百万円の支出となりました。これは主に長期借入金の返済による支出15億円、配当金の支払額3億29百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想に変更はございません。

なお、未定とさせていただいておりました期末配当につきましては、業績動向なども含めて総合的に勘案した結果、10円を予定させていただくことといたしました。何卒ご理解のほどお願いいたします。

（注）業績見通し等の将来に関する記述は、内外の経済状況、為替レートの変動、業績に影響を与えるその他の要因等現時点で入手可能な情報をもとに、当社グループが合理的であると判断した一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。これらは、市況、競争状況、新製品の導入及びその成否を含む多くの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の売上高及び利益は、記載されている予想数値とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### 3. 四半期連結財務諸表

#### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年 3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年 9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	18,251	20,339
受取手形及び売掛金	16,346	18,609
商品及び製品	1,758	1,638
仕掛品	8,916	7,527
原材料及び貯蔵品	3,532	3,125
その他	3,172	2,072
貸倒引当金	△ 168	△ 155
流動資産合計	51,809	53,158
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,247	10,176
その他(純額)	7,987	8,463
有形固定資産合計	18,234	18,639
無形固定資産		
のれん	1,432	1,218
その他	371	379
無形固定資産合計	1,804	1,598
投資その他の資産		
その他	6,045	5,972
貸倒引当金	△ 31	△ 13
投資その他の資産合計	6,014	5,958
固定資産合計	26,052	26,197
資産合計	77,862	79,355

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年 3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年 9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,328	9,135
短期借入金	1,300	1,300
未払法人税等	399	539
賞与引当金	801	833
役員賞与引当金	5	2
その他	5,569	3,928
流動負債合計	17,403	15,739
固定負債		
長期借入金	1,200	1,000
退職給付引当金	1,465	1,340
役員退職慰労引当金	113	113
その他	375	348
固定負債合計	3,154	2,802
負債合計	20,557	18,541
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,216	10,236
資本剰余金	21,234	21,253
利益剰余金	25,609	28,196
自己株式	△ 108	△ 109
株主資本合計	56,951	59,576
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	109	511
為替換算調整勘定	7	316
その他の包括利益累計額合計	117	827
新株予約権	234	305
少数株主持分	—	104
純資産合計	57,304	60,813
負債純資産合計	77,862	79,355

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	25,790	28,366
売上原価	16,354	18,066
売上総利益	9,436	10,300
販売費及び一般管理費		
販売費	2,729	3,175
一般管理費	2,379	2,756
販売費及び一般管理費合計	5,109	5,932
営業利益	4,326	4,367
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	29	35
為替差益	—	144
その他	72	49
営業外収益合計	105	233
営業外費用		
支払利息	55	26
為替差損	100	—
その他	4	5
営業外費用合計	160	32
経常利益	4,271	4,569
特別利益		
投資有価証券売却益	—	72
新株予約権戻入益	0	6
特別利益合計	0	79
特別損失		
子会社清算損	—	12
厚生年金基金脱退損失引当金繰入額	1,557	—
厚生年金基金脱退損失	535	—
その他	160	—
特別損失合計	2,252	12
税金等調整前四半期純利益	2,018	4,635
法人税、住民税及び事業税	453	613
法人税等調整額	328	1,137
法人税等合計	782	1,751
少数株主損益調整前四半期純利益	1,236	2,884
少数株主利益	—	17
四半期純利益	1,236	2,866



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,236	2,884
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△ 265	401
為替換算調整勘定	△ 23	316
その他の包括利益合計	△ 288	718
四半期包括利益	947	3,602
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	947	3,575
少数株主に係る四半期包括利益	—	27

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,018	4,635
減価償却費	851	882
のれん償却額	182	213
株式報酬費用	47	83
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△78	△125
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6	△0
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△30	△33
厚生年金基金脱退損失引当金の増減額 (△は減少)	1,557	—
受取利息及び受取配当金	△33	△39
支払利息	55	26
厚生年金基金脱退損失	535	—
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△72
子会社清算損益(△は益)	—	12
売上債権の増減額(△は増加)	2,083	△2,131
たな卸資産の増減額(△は増加)	△682	1,812
仕入債務の増減額(△は減少)	2,002	△499
その他	△355	△19
小計	8,159	4,745
利息及び配当金の受取額	33	39
利息の支払額	△65	△38
厚生年金基金脱退特別掛金の支払額	△535	—
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△328	△502
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,264	4,243
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△11	△11
定期預金の払戻による収入	11	86
有形固定資産の取得による支出	△818	△852
有形固定資産の売却による収入	0	0
事業譲受による支出	△1,000	—
無形固定資産の取得による支出	△111	△35
投資有価証券の取得による支出	△7	△469
投資有価証券の売却による収入	0	702
子会社株式の取得による支出	—	△24
子会社出資金の取得による支出	△62	—
貸付けによる支出	0	0
貸付金の回収による収入	1	14
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,997	△589

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△ 1,700	△ 1,500
リース債務の返済による支出	△ 428	△ 26
ストックオプションの行使による収入	—	33
配当金の支払額	△ 329	△ 329
その他	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,457	△ 1,824
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 100	177
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,708	2,006
現金及び現金同等物の期首残高	16,452	18,147
連結の範囲の変更に伴う 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	334	157
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,496	20,311

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 1. 前第 2 四半期連結累計期間(自 平成 24 年 4 月 1 日 至 平成 24 年 9 月 30 日)

## ① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	半導体 製造装置	計測機器	計	
売上高				
外部顧客への売上高	15,268	10,522	25,790	25,790
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	15,268	10,522	25,790	25,790
セグメント利益	1,873	2,452	4,326	4,326

② 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## ③ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「半導体製造装置」セグメントにおいて、三菱マテリアル(株)より精密ブレード製品事業を譲り受けており、当該事象による「のれん」の増加額は、664 百万円であります。

## 2. 当第 2 半期連結累計期間(自 平成 25 年 4 月 1 日 至 平成 25 年 9 月 30 日)

## ① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	半導体 製造装置	計測機器	計	
売上高				
外部顧客への売上高	17,427	10,938	28,366	28,366
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	17,427	10,938	28,366	28,366
セグメント利益	2,202	2,165	4,367	4,367

② 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## ③ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。